

第6回 下水道における新型コロナウイルスに関する調査検討委員会  
議事要旨

日時：令和4年3月22日（水）13時00分～15時00分

場所：Web会議システムにより開催

オミクロン株等、流行の波別の傾向が異なるため、それぞれでのずれ日数と順位相関について検討を行うべき。

下水処理場におけるウイルスの除去率については、Log1.5以上という表現とすべきで、ノロウイルスも同様の表現とする。挙動調査の場合、濃縮・分析方法により対象が異なるため留意すべき。

ガイドライン内のサンプルの輸送は、下水だが病原体に準じた輸送となるため、荷送り人の責任になることを明記する必要がある。

ガイドライン内のトレンド分析は、CDCでは標準化を行ってから分析をする旨が記載されているが、本ガイドラインでは各自治体に委ねるという理解でよいか。

京都府、札幌市、貝塚市における下水サーベイランスへの取組について報告があり、各自治体とも、保健衛生部局との連携について情報共有し進めている状態である。

来年度は、3省庁の連携マネジメントとして進めていって欲しい。

以上